



サービスとしての Cisco Nexus Dashboard Data Broker の展開

リリース 3.10.1 以降、Cisco Nexus Data Broker (NDB) は Cisco Nexus Dashboard Data Broker に名前が変更されました。ただし、GUI およびインストール フォルダ構造と対応させるため、一部の NDB のインスタンスがこのドキュメントには残されています。NDB/ Nexus Data Broker/ Nexus Dashboard Data Broker という記述は、相互に交換可能なものとして用いられています。

この章には、次の詳細が含まれています。

- [Cisco Nexus Dashboard Data Broker アプリケーションを Cisco アプリケーションセンターからダウンロードする \(1 ページ\)](#)
- [Cisco APIC でのサービスとしての Cisco Nexus Dashboard Data Broker のインストール \(2 ページ\)](#)
- [Cisco Nexus Dashboard でのサービスとしての Cisco Nexus Dashboard Data Broker のインストール \(5 ページ\)](#)
- [注意事項と制約事項 \(7 ページ\)](#)
- [構成ファイルのバックアップの作成 \(8 ページ\)](#)

Cisco Nexus Dashboard Data Broker アプリケーションを Cisco アプリケーションセンターからダウンロードする

Cisco Nexus Dashboard Data Broker のアプリケーションバンドルをダウンロードするには、この手順に従います。

始める前に

アプリケーションをダウンロードするには、管理者ログイン情報が必要です。

ステップ 1 管理者権限を持つユーザーとして GUI にログインします。

管理者権限がない場合は、[Cisco アプリケーションセンター](#)にログインしてアプリケーションをダウンロードします。

ステップ 2 アプリケーションを選択します。

ステップ 3 作業ペインの右端にある **[アプリケーションのダウンロード (Download Applications)]** アイコンをクリックします。

新しいウィンドウまたはブラウザ タブで Cisco アプリケーションセンターが開きます。

ステップ 4 検索バーで、*Nexus Dashboard Data Broker* を検索します。

ステップ 5 Cisco Nexus Dashboard Data Broker アプリケーションを選択して、**[ダウンロード (Download)]** をクリックします。

ステップ 6 使用許諾契約を確認し、問題が無ければ **[同意してダウンロード (Agree and download)]** をクリックします。

Cisco Nexus Dashboard Data Broker がローカルマシンにダウンロードされます。

または、ダウンロードしたアプリを HTTP サーバーに移動することもできます。これはオプションです。

次のタスク

Cisco APIC/Nexus Dashboard に Nexus Dashboard Data Broker アプリをインストールします。

Cisco APIC でのサービスとしての Cisco Nexus Dashboard Data Broker のインストール

次のいずれかの方法を使用して、Cisco Nexus Dashboard Data Broker をサービスとして Cisco APIC にインストールできます。

- [ローカル マシンから Cisco APIC に Cisco Nexus Dashboard Data Broker をサービスとしてインストールする \(2 ページ\)](#)
- [サーバーから Cisco APIC に Cisco Nexus Dashboard Data Broker をサービスとしてインストールする \(4 ページ\)](#)

ローカル マシンから Cisco APIC に Cisco Nexus Dashboard Data Broker をサービスとしてインストールする

ローカル マシンから Cisco APIC に Cisco Nexus Dashboard Data Broker をサービスとしてインストールするには、次の手順に従います。

Cisco Nexus Dashboard Data Broker の集中型展開から APIC での展開に移行する場合にも、この手順を使用できます。

始める前に

サービスとして Cisco Nexus Dashboard Data Broker をインストールするには、管理者の資格情報が必要です。

-
- ステップ 1** 管理者権限を持つユーザーとして Cisco APIC GUI にログインします。
- ステップ 2** **[アプリ (Apps)]** タブをクリックします。
- ステップ 3** Cisco Nexus Dashboard Data Broker をサービスとしてローカルマシンから APIC に追加するには、**[アプリケーションの追加 (Add Application)]** をクリックします。
- ステップ 4** 表示される **[APIC にアプリケーションを追加 (Add application to APIC)]** ダイアログボックスで、.aci ファイルのパスを参照して指定します。
- ステップ 5** **[ロケーション (Location)]** は、デフォルトで APIC として選択されています。
- ステップ 6** **[送信 (Submit)]** をクリックします。
- Cisco Nexus Dashboard Data Broker が APIC にインストールされると、**[アプリ (Apps)]** タブの下に表示されます。
- ステップ 7** 緑色の **[有効化 (Enable)]** ボタンをクリックして、APIC で Nexus Dashboard Data Broker を有効にします。
- 有効にすると、Nexus Dashboard Data Broker サービスが表示され、青い **[開く (Open)]** ボタンが表示されます。
- ステップ 8** **[開く (Open)]** をクリックします。
- 標準の Nexus Dashboard Data Broker GUI が表示されます。数分かかることがあります。
- 集中型展開から APIC での展開に移行する場合は、手順 9、10、11 に進みます。
- ステップ 9** Nexus Dashboard Data Broker GUI で、**[管理 (Administration)]** > **[バックアップ/復元 (Backup/Restore)]** > **[アクション (Actions)]** > **[ローカルに復元 (Restore Locally)]** に移動します。
- コンフィギュレーションファイルのバックアップ手順については、[構成ファイルのバックアップの作成 \(8 ページ\)](#) を参照してください。
- (注) アップグレード中にデバイスを再構成するには、構成のアップロード中に **[復元 (Restore)]** オプションを選択します (チェックボックスをオンにします)。
- ステップ 10** Cisco APIC GUI で、**[アプリ (Apps)]** タブに移動します。
- ステップ 11** 移行を完了するには、Nexus Dashboard Data Broker アプリを無効にしてから有効にします。
-

サーバーから Cisco APIC に Cisco Nexus Dashboard Data Broker をサービスとしてインストールする

この手順を使用して、APIC [ダウンロード (Downloads)] タブから Cisco APIC のサービスとして Cisco Nexus Dashboard Data Broker をインストールします。

始める前に

サービスとして Cisco Nexus Dashboard Data Broker をインストールするには、管理者の資格情報が必要です。

ステップ 1 Cisco APIC で、[管理 (Admin)] > [ダウンロード (Downloads)] > [全般 (General)] に移動します。

ステップ 2 [タスク (Task)] アイコン ([ダウンロード (Downloads)] 作業ペインの右端) をクリックし、[APIC にファイルを追加する (Add File to APIC)] を選択します。

[ファイルを APIC へ追加 (Add File to APIC)] ダイアログ ボックスが表示されます。

ステップ 3 [ダウンロード名 (Download Name)] フィールドにダウンロード ファイルの名前を入力します。

ステップ 4 [プロトコル (Protocol)] フィールドで、[安全なコピー (Secure Copy)] または [HTTP] を選択します。

Nexus Dashboard Data Broker ファイルが HTTP を使用してファイルサーバーにダウンロードされた場合は、[セキュア コピー (Secure Copy)] を選択します。

ステップ 5 [URL] フィールドに、イメージの場所へのパスを入力します。

ステップ 6 [ユーザー名 (Username)] および [パスワード (Password)] フィールドに、ユーザー名とパスワードを入力します。

デフォルトの [認証タイプ (Authentication Type)] は [パスワードを使用 (Use Password)] です。

ステップ 7 [送信 (Submit)] をクリックします。

次のタスク

Cisco Nexus Dashboard Data Broker が APIC にインストールされると、[アプリ (Apps)] タブの下に表示されます。緑色の [有効化 (Enable)] ボタンをクリックして、APIC で Cisco Nexus Dashboard Data Broker を有効にします。有効にすると、Cisco Nexus Dashboard Data Broker が表示され、青い [開く (Open)] ボタンが表示されます。[開く (Open)] をクリックして、標準の Cisco Nexus ダッシュボード データ ブローカー GUI を取得します。

Cisco Nexus Dashboard でのサービスとしての Cisco Nexus Dashboard Data Broker のインストール

この手順を使用して、Cisco Nexus Dashboard (ND) に Cisco Nexus Dashboard Data Broker をインストールして有効にします。

Cisco Nexus ダッシュボード データ ブローカの集中型展開から ND での展開に移行する場合にも、この手順を使用できます。

データ ブローカを pND/vND に展開する際に必要なクラスタ サイズの詳細については、[キャパシティ プランニング ツール](#)を参照してください。



(注) Nexus Dashboard Data Broker は、他の Nexus Dashboard サービスと共同でホストすることはできません。Nexus Dashboard Data Broker 専用の Nexus Dashboard クラスタを必ず展開してください。

ステップ 1 Cisco Nexus Dashboard にログインします。

ステップ 2 [サービス (Services)] > [サービス カタログ (Service Catalog)] > [アプリ ストア (App Store)] に移動します。

Nexus Dashboard Data Broker サービスが利用可能です。

ステップ 3 [インストール (Install)] をクリックします。

Data Broker サービスをリモート サーバーまたはローカル マシンにダウンロードした場合は、[アクション (Actions)] > [アプリのアップロード (Upload App)] をクリックします。必要なオプションを選択し、[インストール (Install)] をクリックします。

ステップ 4 [サービス (Services)] > [サービス カタログ (Service Catalog)] > [インストール済みサービス (Installed Services)] に移動します。

ステップ 5 [有効化 (Enable)] をクリックします。

[Nexus Dashboard Data Broker を有効にする (Enable Nexus Dashboard Data Broker)] ウィンドウが表示されます。

ドロップダウンリストから必要な展開プロファイルを選択します。次のオプションがあります。

- 小規模
- 中規模
- 大規模

選択した展開プロファイルのリソース要件が表示されます。

展開プロファイルのリソース要件の詳細は、以下の表に示されています。

展開プロファイル (アプリ プロファイル)	ノードあたりのコア 数	ノードあたりのメモ リ (GB 単位 RAM)	ノードあたりのHDD (GB)	NDB デバイスの数
小規模	4	4	2	25*
中	6	8	2	50*
大規模	8	16	2	75*

* 54 ポートの Nexus スイッチ。

ステップ 6 [開く (Open)] をクリックします。

標準の Nexus Dashboard Data Broker GUI が表示されます。数分かかることがあります。

集中型展開から ND での展開に移行する場合は、手順 7 から 12 に進みます。

ステップ 7 `scp` コマンドと、`/home/rescue-user` のパスを使用して、`tlsKeyStore` および `tlsTrustStore` ファイルを以前のリリースの構成ディレクトリからいずれかの ND ノード (ND-1 または `node-1` など) にコピーします。

Example: `scp tlsKeyStore rescue-user@x.x.x.x:/home/rescue-user`

ステップ 8 `tls` ファイルがコピーされた ND ノード (`node-1` または `ND-1`) に `root` ユーザーとしてログインします。

ステップ 9 `/home/rescue-user` に移動し、次のコマンドを実行します。

- `kubectl cp tlsKeyStore cisco-ndb/ndbserver-0:/home/app/ndb/configuration`
- `kubectl cp tlsTrustStore cisco-ndb/ndbserver-0:/home/app/ndb/configuration`
- `kubectl cp tlsKeyStore cisco-ndb/ndbserver-1:/home/app/ndb/configuration`
- `kubectl cp tlsTrustStore cisco-ndb/ndbserver-1:/home/app/ndb/configuration`
- `kubectl cp tlsKeyStore cisco-ndb/ndbserver-2:/home/app/ndb/configuration`
- `kubectl cp tlsTrustStore cisco-ndb/ndbserver-2:/home/app/ndb/configuration`

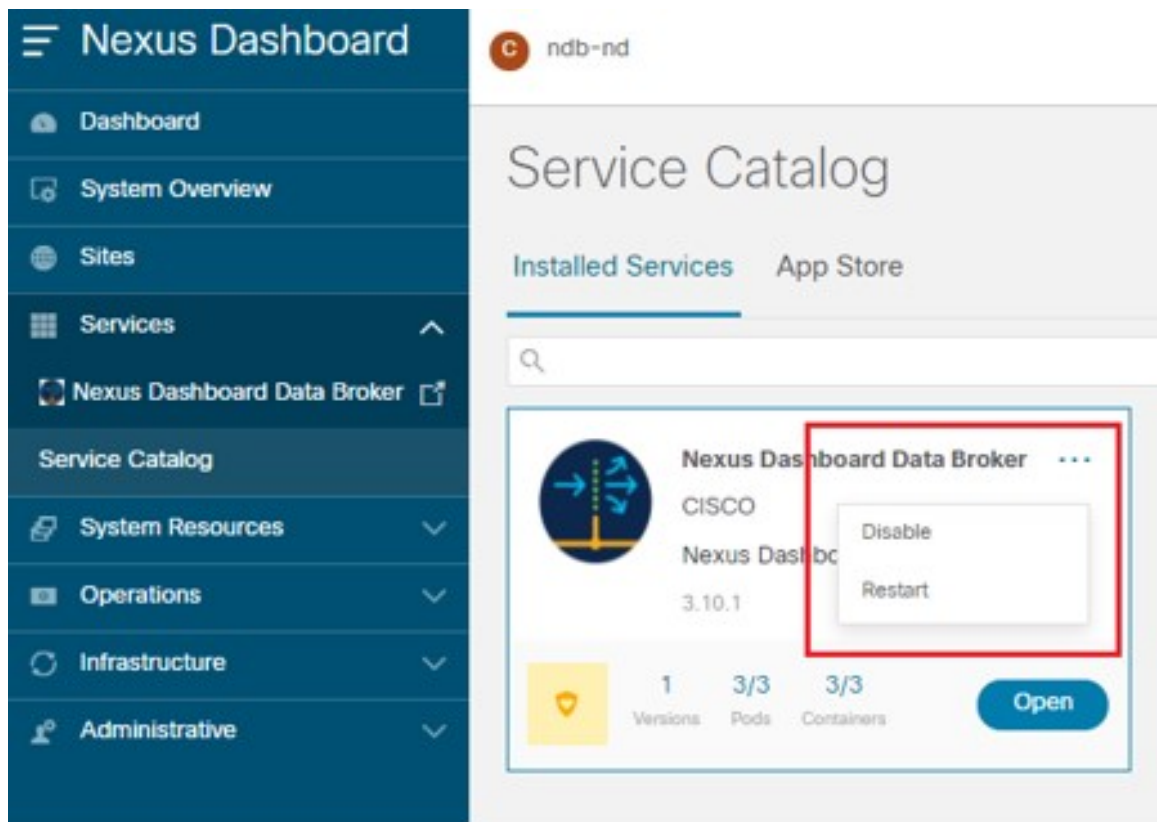
ステップ 10 Nexus Dashboard Data Broker GUI で、[管理 (Administration)] > [バックアップ/復元 (Backup/Restore)] > [アクション (Actions)] > [ローカルに復元 (Restore Locally)] に移動します。

コンフィギュレーション ファイルのバックアップ手順については、[構成ファイルのバックアップの作成 \(8 ページ\)](#) を参照してください。

(注) アップグレード中にデバイスを再構成するには、構成のアップロード中に [復元 (Restore)] オプションを選択します (チェックボックスをオンにします)。

ステップ 11 Cisco ND GUI で、[サービス (Service)] タブに移動します。

ステップ 12 移行を完了するには、Nexus Dashboard Data Broker アプリを無効にしてから有効にします。



(注) バックアップされた構成に、サイトとして ND にも接続されている APIC がある場合は、APIC サイトが到達可能であり、Nexus Dashboard Data Broker が ND 経由で APIC サイトに接続できるように ND に接続されていることを確認します。

注意事項と制約事項

次に、Cisco APIC/Nexus Dashboard のサービスとしての Cisco Nexus Dashboard Data Broker のガイドラインと制限事項を示します。

- NDDB をアプリとして ND または APIC にインストールするには、少なくとも 3 ノードの APIC/ND クラスタが必要です。
- 個別のログインは必要ありません（シングル サインオン）。Nexus Dashboard Data Broker GUI に移動します。
- ホスト APIC は自動的に検出されるため、再度追加する必要はありません。

Nexus Dashboard Data Broker サービスがインストールされている APIC は自動的に検出され、Nexus Dashboard Data Broker サービスが有効になった後、Nexus Dashboard Data Broker の Span Devices 画面に表示されます。

- Nexus Dashboard Data Broker サービスを再起動するには、APIC/ND でサービスを [無効 (Disable)] にしてから、再度 [有効 (Enable)] にします。ND の場合は、[再起動 (Restart)] オプションを使用することもできます。
- Nexus Dashboard Data Broker は、ホストの (APIC/ND) RBAC を使用します。
- APIC/ND の root ユーザーは、Nexus Dashboard Data Broker の config.ini ファイルを変更できます。
- ユーザーは、構成をダウンロードすることで監査ログをダウンロードできます (ローカルバックアップ オプション)。

(APIC 上の Nexus Dashboard Data Broker のみ) Nexus Dashboard Data Broker のログは、APIC テクニカル サポート ログ ページからダウンロードする必要があります。

- ブラウザと、サービスとして展開されている Nexus ダッシュボード データ ブローカー間の TLS は、使用されません。Nexus Dashboard Data Broker コントローラと NDB デバイス間の TLS には同じ手順があり、ユーザー (ルート権限を持つ) は、ディレクトリ内のすべてのコンテナに tls ファイルをコピーする必要があります。ディレクトリ パスは次のとおりです。

APIC の場合 /home/app/local-data/configuration、ND の場合
/home/app/ndb/configuration/。

詳細については、*Managing TLS* の章 (Cisco Nexus Dashboard Data Broker Configuration Guide) を参照してください。

構成ファイルのバックアップの作成

集中型展開から ND での展開に移行する前に、この手順を使用して構成ファイルのバックアップを作成します。

ステップ 1 Nexus Dashboard Data Broker GUI にログインします。

ステップ 2 [管理 (Administration)] > [バックアップ/復元 (Backup/Restore)] > [ローカルに復元 (Restore Locally)] に移動します。

zip ファイルのデフォルト名は、configuration_startup.zip になります。

ステップ 3 `runndb.sh -stop` コマンドを使用して、現在の Nexus Dashboard Data Broker インスタンスを停止します。

ステップ 4 Nexus Dashboard Data Broker サーバーと NX-OS スイッチの間で TLS 証明書が有効になっている場合は、tlsTrustStore および tlsKeyStore ファイルを、古い ndb 構成ディレクトリから構成ディレクトリのアプリのコンテナにコピーします。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。